



地域を守る消防士

問い合わせ 消防本部
予防政策課 ☎20・2704

あらゆる災害から人々の安全を守るとともに、これらの災害を未然に防止する業務を担う消防士。市民の大きな期待に応えるべく、災害に敢然と立ち向かう消防の仕事を紹介します。

地域を守る消防の仕事

消防士の仕事は主に、次の5つに分けられます。

消防隊 火災現場に出動し、消火活動を行います。消火活動のほかにも、火災原因の調査や消火栓の点検などを行っています。

救急隊 急病・事故・災害の現場に急行し、適切な応急処置を行いながら、傷病者を医療機関へ搬送します。救急救命士の資格を持つ女性消防士もいます。

救助隊 人命救助を主な任務とし、火災から交通事故、山岳や水難事故など幅広い災害現場で活躍します。日々の厳しい訓練を受けた救助のエキスパートです。

指令員 119番通報を受信し、出動指令を出します。無線で部隊の活動を統制し、様々な災害現場活動の中核的役割を担います。

予防査察員 火災を未然に防ぐため、施設を立入検査し防火指導を行います。また消防用設備の設置審査や避難訓練指導なども行います。

令和2年度職員採用情報について
は、14ページ「くらしのかんづめ」や、消防本部ホームページをご覧ください。9月にも採用試験を実施します。

女性消防士の活躍

消防士は、男性の職業と思われがちですが、市では現在3人の女性消防士（消防隊1人、救急隊2人）が活躍しています。

災害現場では、迅速かつ的確な対応が求められる一方で、女性ならではのきめ細やかな対応が必要となることもあります。また、消防という公共性の高い業務においても女性の活躍の場を広げることで、更なる市民サービスの向上を目指しています。

女性消防士にも働きやすい環境づくり

消防本部では、今年度、東出張所や南消防署に女性専用仮眠室やシャワー室を整備し、女性にも働きやすい環境を整えていきます。

Interview

南消防署 救急救命士 辰島 加絵さん

女性ならではの視点を大切に

消防には様々な職種があり、全国的に見ても多彩な分野で女性消防士が働いています。

災害現場では、女性が持つ優しさや安心感、男性とは違う視点などが求められる場面も多く、女性消防士の重要性はますます高まっていることを実感しています。これからもっと女性消防士が増えていくことを望んでいます。私たちとこまつの未来を守るために一緒に頑張りましょう。

小松市消防職員数

133人(令和2年4月末現在)

うち女性消防士数

3人

出動回数(令和元年)

火災	9件
救急	4,067件
救助	44件



6月2日火 芦城センター リニューアルオープン

みんなにやさしい、はつらつとした学びと交流の拠点機能を拡充しました。問い合わせ はつらつ協働課 ☎24・8397

リニューアルの主な概要を紹介しますので、ぜひご利用ください。

CHECK1 新たに利用可能スペースを拡充

より多くの人に幅広く利用していただけるよう、利用可能スペースとして3ルームを増設しました。

日常の健康づくりに役立つ「ウエルネスルーム(機能回復室)」

大勢(約25人)が一堂に運動できる「アクティブルームA」

生涯学習の機会を深める「セミナールームC(生活健康相談室)」

アクティブルーム(イメージ)

1階

2階

CHECK2 館内全体の使いやすさにやさしさをプラス

トイレの多目的化に加え、案内サインの見直しや照明のLED化で、訪れる人々と環境に配慮しました。

オムツ替え、親子トイレ、車いす、オストメイトなどに対応

全館の空調を改修するとともに、照明を環境にやさしいLEDに変更

CHECK3 従来のスペースをもっと快適で便利に

利用状況やニーズに応じて、今までよりも便利で使いやすい機能を追加(改良)しました。

▼きれいで使いやすい調理台に改修されたクッキングスタジオ

▲プレイマットが設置され、子育て世代の利用が増すライブラリールーム

▲オープンカフェと市民ギャラリー(作品展示)が設置されたエントランス

芦城センター

相生町11 ☎21・6821

開館時間 9時～22時(予約受付は9時～17時)

休館日 月曜日、5月3日～5日、8月14日～16日、12月29日～1月3日

利用料金 午前、午後、夜間各200円/室
※別途、空調利用料が必要